

わたしたちの町

人口(男)4,651人
(女)5,014人
合計9,665人
5月中の転入26人
転出40人
世帯数 2,310世帯

(5月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和56年 6月20日 第277号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月10日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。

広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

大木のよ うに
たく ましく



誕生の森記念植樹

すこやかに育てと祈りをこめて、五月三十一日、第六回誕生の森植樹が行なわれました。今年はカントリーエレベーター前の、通年施行発祥の地、記念碑広場にレンゲツツジを植えつけ、六十八名の赤ちゃんを囲んで、家族づれなど三百人近くが集まりました。
「たくましく育って、美しい花を咲かせてほしい。子どもの成長を木の成長にあわせて、ていねいな作業風景手を含ませて祈る光景も見られました。
カントリーエレベーターは、町の中心地に近く、農業諸施設の利用者、見学者がたえません。明春からはレンゲツツジが美しい色彩を楽しませてくれることでしょう

カントリーエレベーター前で

待望の諸施設に着手

環境改善 センター 明年六月完成めざす

町では五月二十七日、農村環境改善センター、休養休憩施設、野外ステージなどの諸施設を発注。待望の「つち音」に、町内は明るい気配につつまれています。

野外ステージで

音楽の祭典を計画

二十七日に入札によって発注したのは「農村環境改善センター」「休養休憩施設」「屋外ステージ」「杉山田集会所」の四施設。同日、公立合川高校組合では「寄宿舎」の建設を発注しました。

環境改善センターは工事費二億三千四百万円。竣工期限は五十七年六月三十日。ステージ付き大集会所・図書室・和室集会所(三十畳)、生活改善室など町の「中央研修施設」として完成が待たれています。

休養休憩施設は大野台ハイランドハウスと併設。大ホール、大広間、宿泊室三室、研修室がつくられ、利用者が大幅にふえる見込みです。

青年婦人議会などで要望が重ねられた野外ステージは、ハイランド広場に設置。八月の竣工にむけて青年会を中心として、「落成音楽祭」の計画がすすめられています。

「農村環境改善センター」「休養休憩施設」の工事契約は、六

地籍調査事業

現地調査スタート

地籍調査事業の現地調査がはじまりました。七年計画で町内全域で計画。初年度の今年は、東地区で実施されます。現地調査は、今月八日から道城地区を皮切りにスタート。地域関係者の協力で作業がすすめられています。



将来に残る作業だけに慎重な視線。

広報交通安全キャンペーン

行楽を安全に

一時間の運転に五分の休息を



遠出のドライブは過労運転につながりやすく、重大事故の危険をひめています。同乗者も、運転者以上に「安全」に気を配りましょう。
▽日程はゆとりをもって、出発前に点検をしっかりと。▽運転は交代で。一時間の運転に

五分の休息を。▽単調な道路雨の日のワイパーは眠気が出ます。同乗者が居眠りすると運転者も眠くなります。▽スピードはひかえめに、車間距離は十分に。
▽行楽はできるだけ自動車やバスを利用しましょう。

七夕

七月七日は七夕(たなばた)です。古来、この日は七日正月として重要な節目とされ、祭壇の棚に標識のハタをつけていたことが「タナバタ」の語源とされています。
タナバタに「七夕」の字をあてたのは、たまたまこの日が中国の星祭りの日「天の川をはさんで彦星と織姫が出会う日」と同じであったためです。ササに歌や文字を書いた短冊(たんざく)をつるす風習は、中国の「字がじょうずになるように」と祈る習慣が伝わったものです。
町内の七夕行事はほとんどが陰暦にあわせて新暦の八月六日に行なわれています。子どもたちを中心に灯籠(とうろう)と笹竹をかざり、笛や太鼓にあわせて部落内を回り歩き、最後に川に短冊とネムの木を流します。「ネプタ」は暑さに負けずねむけを流そうという意味とされています。願いごとの短冊やネムの木を川に流す風習は、身についたけがれを流す日本古来の「みそぎ」の習俗が転化したものでしょう。
ねぶ ねぶ ながえれ
けがしもながえれ
てんじよ(天井)さ ふぐ(福)とどまれ
(鎌沢ねぶ流しのハヤシ 福田織之助さんより)
眠けが流れ、不作が流れて、福の神が宿るようにという願いがこめられています。今年は昨年に続いて冷害が予想されています。
「けがしもながえれ」と大きな声で叫びたい気持ちになります。

町長日記から

山菜や薬草の栽培の成否は、日照、乾湿、通風等、その生育環境が左右する。人間が植物を慣らしたものの代表は稲である。稲は南方暖地の原産を、北へ北へと適応させた。しかし、この耐寒種の作物は数千年来、農民の手によって開花されたものである。
今、九年間の水田再編計画の第四年次に入っただが、転作物のための土地条件の整備を、この三年間で完了することは困難である。現状に多少の手入れをするのみで、転作可能な作物を一部導入すると山菜、薬草などどが適作となる。多量に農薬の投入されている蔬菜(そさい)を、消費者は警戒している。そのため自然食と自然植物としての山菜、薬草が登場する。東北の他県では急速にその方向をとっているが、秋田県民がのんびりしているうちに、林道が発達して採集が容易となり、山菜は絶滅寸前となった。今こそ頭の切り換えが必要で、新しいものへの着目は、身近な単純な論理から生れる。もちろん専門家でもない私の話だから、私見の範囲である。
(義)



「土に親しみ豊かな心を育てよう、をあいことばに、今年も合川中学校で全校田植えと畑づくりが行なわれました。」

一年生は学校裏の十二アールの畑で大豆の種まき。二、三年生は三ヘクタールの田んぼで田植え。トレバンの姿で全員が汗を流しました。

毎年の恒例行事とあって、覚悟を決めていた生徒たちも、慣れない農作業に、悪戦苦闘。二年生では田植えが初めての生徒も多く、田んぼの感触がいかにも楽しそう!?。ホッペタにどろをつければ、笑顔でした。

『つらい仕事ほど楽しい気持ちで』

五月十六日。からりと晴れたる絶好の田植え日よりになりました。トレバンの姿の全校生徒に、鈴木通校長があいさつ。

「今のお年寄りの人たちは、つらい仕事ほど楽しい気持ちでやろうと努力したものです。仕事が終わったあとのことや、収穫のことを楽しみにしながらがんばりましょう。」

中学校の田植えは七年目。大豆づくりは三年目。「農作業は学校で経験するだけ」と言う生徒も多く、家庭での農作業は年々、少なくなっているようです。裸足になって、田植え開始。

「ヒヤッ」「キーン」と、ドロの感覚に奇声があがります。今年は三反歩田（三ヘクタール）一枚に、ウルチ米とモチ米を半々ずつ植えて。約二百人がずらりと並んでの手植え作業は、周囲の農家からも注目をひいていました。

さわやか気分

『腰がイデエなあ』

ぬかるみに足をとられながらなかなか作業が進みません。隣の人と顔を見合わせながら、思わずニッコリ。あぜから投げてもらった苗で、お互いの顔にドロがついています。

見よう見まねの作業も、作業が進むにつれて、だんだんと手つきが良くなります。約一時間



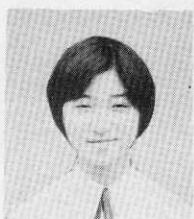
となりはうまくうえているのかな。手つきを見ながら「腰がイデエなあ」

めるめるめるめる
じやい！つめたい
実感—田んぼの感覚

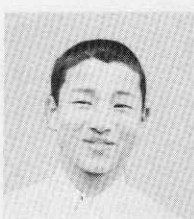
つかれたけれど収穫が楽しひ

ぬるぬるへんな気分

新鮮な感覚とてもいい体験



1 年 土濃塚万里子さん



2 年 後藤 篤志さん



3 年 奈良 由紀子さん

豆植えは、南小学校でもやりました。腰を曲げっぱなしの仕事で、立つとクラクラするほどつかれました。

時々、畑を見に行っています。まだ少ししか芽が出ていないので心配です。豆植えはたいへんでしたが、何カ月かすると実のりが実感できると思うと楽しひです。家では、稲刈りの時に機械の入れないところを手伝います。

家に田んぼがありますが、田植えは初めて。ぬるぬるしている、気持ちがいいのか悪いのかわからないうちに終わりました。

植えてみてはじめて、大人の人はたいへんな仕事をしているんだなと、と感じさせられました。陸上部に入っていますが、クラブの練習よりもつかれました。腰が痛くて立っていられませんでした。これから草取り、稲刈りがあります。心配ですが楽しひです。

農業は苦勞がたえないなあと思惑がわきました。自分でものを作るといことはすばらしいことだけれども、天候にも左右されるし、たいへんだと思います。

ときどき草取りの時間がありますが、イネと雑草の区別がつかずこまっています。他の学校では味わえない新鮮な感覚が味わえて、とてもいい体験になりました。

「やっと慣れてきたところ。もう少し植えたいなあ。」

さわやかな春風を感じながら、足のドロを落とす生徒たちは、みんな気持ちよさそうです。

中学校では除草、刈り取りの全校作業を計画。正月に、モチツキ大会を行ない収穫を祝うことにしています。

また、ウルチ米、大豆の収益金は「いなほ文庫」の図書購入にあてる予定です。

合川中学校 県研究指定校に

合川中学校が「秋田県学校経営研究指定校」と、鷹巣阿仁部中学校教科研究会会場で、選ばれました。体験学習を、はじめ、学校活動全般について、県内のモデル的な実践が評価されたものです。

六月九日、鷹巣阿仁部の教科研究会を開催。教育関係者三百人余りが集まりました。

国語教育の実践者として知られる、大村はま氏が来演。大村氏は世界的な教育者で、日本で一人、ベストラッシュ賞を受賞しています。教師の使命感を説く熱演は、多くの人に感銘を与えました。

また、参加者からは、校内整備など、生徒の努力にも称讃の声がかけられました。

火災

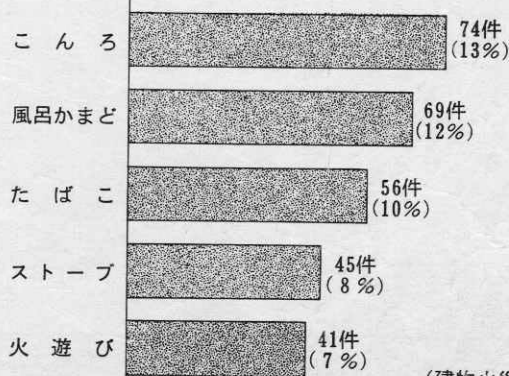
今年、町内ですでに五件

県内では昨年五百九十八件の火災が発生。①タバコ、たき火などの不始末百五十八件 ②石油ストーブなど石油器具によるもの九十五件 ③電気器具によるもの五十九件 ④ガス器具によるもの五十三件 ⑤まき、石炭器具によるもの五十二件。以上が昨年の火災の五大原因です。（原因不明九十一件）

建物火災は四百四十七件。建物火災では、石油器具によるものがトップになっています（九十三件）。特に昨年は、ふろの空だき



火の用心



による火災が目立っています。ボイラーの煙突は、定期的に点検しましょう。絶対安全と設置したもので油断できません。

左下グラフは、昭和五十二年から昭和五十四年までの三年間の原因別火災件数です。これからは花火など、子どもの火遊びによる火災が起きやすくなります。火の恐しさをしっかりと教えることは、親の責任です。家族全員が、しっかりと火の元の点検を行い、その姿を子どもに見えさせたいものです。

健康づくり

自分の欲求をおさえることから

健康大学は四年目を迎えました。九日の第一回講座には八十名が参加。皆検診の呼びかけを中心に、健康づくりの輪を広めることを誓い合いました。

講師の高田準平氏（小坂町図書館長）のお話からひろってみました。

健康大学

昭和四十年代をピークにした高度経済成長の中で、日本人は多くの大切なものを失いました。その一つは、どんなことでも公共サービスでやってもらえろのだという考えがなくなり、自分の力、自分の努力、自分の知恵、自分の時間を出さなければならなかったことです。健康の問題も、自分で努力する、ということがなくなりました。健康づくりを病院と薬だけにまかせっぱなしにして、人がふえています。

三十代からの病者は、健康管理をしないで病気になる場合がほとんどです。健康づくりの第一は「自分の欲求をおさえる」ということです。まず食生活です。私は以前、糖尿病

で倒れたことがあり、食事療法をとりました。その時感じたのは、カボチャやジャガイモの自然の甘さです。また、人間ドックでの検査結果から塩分を取りすぎないように注意しました。その時、感じたことは加工食品のしよっぱさです。塩分や糖分のことはばかりでなく、食生活は、よほど気をつけないと健康は守れないという気がしました。

食生活は「心の健康」にも大切で、青い野菜を食べないと心が悪くなるという事例も発表されています。インスタント食品の氾濫（はんらん）が、最近の子供の暴力事件などにつながっているように思えてなりません。

今の社会は、健康をこわす社会です。それに負けないで健康をつくることです。私は毎日、階段を上り下りして、汗を流す努力をしています。体をいためつける、ぐらいい体をきたえましょう。

また、健康は自分一人だけではなく、社会全体が健康でなくてはならないという意識でがんばってほしいものです。人に世話され自分が世話をする。他人と自分が同じだ——これがボランティア精神です。一人ひとりが町の健康づくりを引っ張っていきつくりたいです。ばってください。

羽根山沢

二ツ井町田代

郡境を結ぶテープカット

峰越林道が開通



当町羽根山沢と二ツ井町田代を結ぶ峰越連絡林道が開通しました。開通した林道は羽根山沢の「春慶林道」と二ツ井町の「湯の沢林道」を結ぶもので延長二千二百七〇メートル。林道周辺は二千ヘクタール近い国有林・民有林で囲まれ、約二十三万立方メートルの森林資源が育てられています。また、最古の造林杉と言われる文政年間造林杉、当町最高峰白津山、伝説の田代湯を結ぶコースは、学術的にも貴重な「資源」とされ、ハイキングやドライブのコースとしても脚光をあびています。

羽根山・出羽田代の間は車でおよそ三十分。時間的に大幅に短縮され、お互いの交流も大きく進むものと期待されています。このルートは、昭和五十三年両町関係者が現地踏査。その必要性を痛感し、期成同盟会を中心を要望を重ねていたもので、工事は県が事業主体となっており、当町側では昨年六月、二ツ井町側は昨年七月着工。総事業費は七千六百三十万円余。

開通式は五月二十五日に行なわれ、郡境付近に関係者約五十名が出席しました。県林務部長、両町長らが喜びのテープカット。あいにくの雨もようの空に歓声が響いていました。

アメシロから緑を守りましょう

緑を食い荒らすアメリカシロヒトリの発生する季節になりました。この害虫は、小さいときは果を造り、かたまって生活しますが、大きくなると離れて散らばります。したがって早期に発見して退治することが必要です。見かけない「果」を発見した人は役場農林課に連絡ください。



多くの声を町政に

町政モニターに百名を委嘱

パイプ役

町では、できるだけ多くの町民の生の声を聞き、町政に反映させるため、町政モニター制度を設けています。昨年度は、モニターから二十三件の通信をいただきました。また、昨年七月七日にはモニター懇談会を開催して意見を交わしています。

モニターからの要望は、担当課で検討して町政に反映され、関係機関にも届けられます。直接、問接に、モニターの声が実現されたものもあります。

六月一日から百名の新モニターを委嘱しました。くらしの声、地域の声、職場の声を気軽に寄ってください。

新モニターは次のとおりです。(敬称略)

栄悦 佐藤重人 吉田協子
桜庭ヒデ 佐藤長五郎 金沢
松橋勝美 工藤登 弥栄
向井龍洋 金厚子 桃栄 阿部重作 梅栄 後藤猛雄 桜井紀子 美栄 豊村淳子 杉

杉測秀子 庄司進 李信 桜田満 木村信郎 近藤栄悦 県政モニター 清原利雄 畠山英夫 成田弘三 成田カオル 新田目 安部守 浪岡ミチ子 齊藤キノ 福田 松

井栄子 鈴木浩二 鈴木吉郎
松井運作 東根田 桜田祐悦
佐藤弘子 佐藤泰子 桜田昇
西根田 金森秋男 金田明
金田耕二 金田京子 県政モニター 金アイ 羽根山 松岡良寿 松岡祥子 松岡栄蔵 松岡ヒデ 羽立 藤岡ツルエ 藤岡興子 藤岡清助 芹沢 桜庭義仁 桜庭イナ子 土濃塚悦二 大内沢 成田カツ子 三三 福岡等 福岡節子 福岡哲子 松橋忠雄 摩当 金田ミヤ 金田俊市 三木田 相馬良 三浦カツ子 三浦ルリ子 三浦新吉 相馬 三 鎌沢 西村雅明 鈴木久男 岸田聖子 雪田 杉測ノリ 伊藤六郎 杉山田 伊藤鉄勝 伊東忠敏 杉測美木子 グリーンハウス 関嘉佳 エコロハイツ 永井貞子

三カ月の天気予報

五月の低温は三十四年ぶりと云われる異常低温。七、八月も冷夏が予想されています。昨年に続いて冷害が心配されますので、農作物の管理を徹底しましょう。

分けつ最盛期までは、日中の温度が高い時には浅水、平均気温が十五度以下の時はやや深水にします。一日に一回は見回りを行い、水の状態を確かめることが必要です。病害虫防除、除草は適期適量を守り、中間追肥はできるだけ控えましょう。空もよくに弱気にならないように、細心の注意で乗り切りましょう。

今年も冷害型 水の見回りを毎日

五月の低温は三十四年ぶりと云われる異常低温。七、八月も冷夏が予想されています。昨年に続いて冷害が心配されますので、農作物の管理を徹底しましょう。

町のことよみ (行事予定)

六 月	二十日	郡市小学校野球大会 (会場 合川球場)
二十日	ろばた講座地域めぐり	
二十一日	ことぶき大学運動会	
二十三日	六月定期町議会(予)	
二十五日	巡回行政相談	
二十七日	親子読書会	
七 月	十四日	健康大学
十六日	町民体育祭	

金 奥さんも 国民年金へ

国民年金は二十歳から五十九歳までの人で、職場の年金に加入していない人はすべて加入することになっています。ただし、サラリーマンの奥さんや学生は本人の希望によって、任意加入することが出来ます。

サラリーマンの奥さんは、ご主人の年金をあてにするだけでなく、自分自身の年金がもらえるように、七割以上の人が任意加入しています。年金を受け取るには、一定期間、かけ金をかけることが必要で、期間が長いほど年金額が多くなります。まだ加入していない奥さんは、できるだけ早く加入しましょう。年金についての相談は、役場福祉課に気軽におよせください。

有リン洗剤追放 川を守りましょう

合成洗剤が川や海に流れこむことによって、水草やプランクトンが発生しやすくなります。これが川を汚す一因になるので、合成洗剤を追放する運動は全国的に行なわれています。秋田県では昨年八月から有リン、低リン洗剤への切り替えを呼びかけています。

合成洗剤と粉石けんの比較テストでも、汚れ落ちはほとんど差がないという結果がでています。

きれいな川を守るため、有リン洗剤を追放しましょう。

◎県では、県民総参加の「美しい郷土づくり運動」を展開しています。あわせて、町では「ごみの不法投棄防止」を中心に、環境美化活動を呼びかけています。これからの季節、不法投棄は悪臭、カやハエの発生源となり、多くの人の迷惑になります。一人ひとりの心がけて、美しい町を育てましょう。

食中毒の季節です 台所を清潔に!!

これから高温多湿の季節を迎えると、食中毒が発生しやすくなります。台所や食品に気を配り、食中毒を予防しましょう。

【食中毒予防五カ条】

- 一、新鮮な材料を早く食べる。
- 二、冷蔵庫は五℃以下を目安にして清潔を保つ。
- 三、フキン、まな板、包丁などの調理器具は衛生的に。
- 四、魚はよく水洗いし、十分に熱を通す。ナマ物は特に新鮮なもの。
- 五、手や指の化膿菌も食中毒の原因になります。傷がある場合は特に気をつけましょう。

福祉医療制度が一部変わります

県議会が福祉医療費支給制度の一部が改正され、七月から実施されます。

これまで一律無料化されていた乳幼児、母子父子家庭の児童、七十歳以上のお年寄り、一定以上の所得のある人の医療費が有料になります。

改正のくわしい内容、福祉医療制度についての問い合わせは役場保健課におよせください。

危険物 取扱試験

対象者・乙種第四類危険物取扱者試験の受験者 期日及び会場 六月二十二・二十三日 秋田市 三十日 七月一日 大館市 二日 三日 能代市 ぐわしくは広域消防組合分署へ

ご存知ですか 印 紙 税

間違って印紙をはりすぎた場合 ▲ その文書を税務署に持って行き、一定の手続きをすると還付されます。

▼印紙税がかかる文書に収入印紙をはりなかつた場合 ▲ 印紙税がかかることを知らなかったり、はり忘れた場合にも、納めなかつた印紙税額の三倍(自主的に収入印紙をはってないことを申し出た場合、一倍)の過怠税がかかります。

五月一日から印紙税額が変わっています。くわしくは大館税務署におたずねください。

自動車税

納期限は六月三十日です。お忘れなく

【六月】 上旬には梅雨前線が本州の南岸に接近し、梅雨入りは平年(六月十五日)より早そうですが、前線の活動は弱く月半ばごろには晴れる日があるでしょう。下旬には前線の活動が強まり、冷たく涼しい曇・雨の日が多く、局地的に大雨の降る恐れがあります。

月平均気温は平年並みかやや低く、降水量も平年並みの見込みです。

【七月】 低温や日照不足が目立ち、曇りや雨の日が多く、局地的な大雨の降る恐れがあります。梅雨明けは平年(七月二十六日)並みかやや遅く月平均気温は平年よりやや低く、降水量は平年よりやや多い見込みです。

【八月】 初旬は夏らしい暑い日がありますが、その後は不安定な天気となつて低温や局地的な大雨の降る恐れがあります。月平均気温は平年並みかやや低く、降水量は平年並みかやや多くなります。

(秋田地方気象台五月二十日発表)

ご利用ください 巡回行政相談

生活の中で困っていること、納得のいかないこと、希望することなどを巡回行政相談にお寄せください。役所の仕事、思給年金の相談、道路や河川公害、迷惑のこなど気軽にどうぞ。

日時 六月二十五日(木) 午前十時 午後三時

会場 役場第一会議室

相談には行政監政局職員、行

ツツガムシ病にご注意を!!

県内各地で、今年もツツガムシ病が多発しています。野山に出かけるときは十分気をつけましょう。

大会新記録が続出

第十三回 小学校陸上記録会

町内小学校児童の陸上記録会は五月二十一日、中学校グラウンドで開かれました。この記録会は四年生以上の児童全員が参加。九つの「大会新」が記録されました。成績とタイムは次のとおりです。(新大会新記録)



女子百四十一年①三浦るみ子(南)十六秒五②新②佐藤公子(北)十六秒六③新③成田麻子(西)五十六秒六④新④藤島亜紀子(北)六十六秒一⑤後藤さおり(東)五十五秒三⑥加藤恵南⑦佐藤佳子(西)藤沢妙子(東)六十六秒四⑧新⑧山岡美香子(南)二分八秒〇⑨新⑨藤田里香子(北)八分五十五秒一⑩伊東由希子(南)二分五十二秒〇⑪新⑫北林加奈子(南)⑬田中美子(西)六分六分一〇今泉恭子(東)二分四十三秒〇⑭今泉律子(東)⑮佐藤麻美(東)四分四秒九⑯新⑯南小一分六秒九⑰新⑰西小一分七秒二⑱新⑱北小一分五秒一⑲北小一分六秒三⑳南小一分六秒六⑳東小一分二秒二⑳西小一分二秒三⑳御所野真(南)十

ことぶき大学 レクとの集い スポーツ

ことぶき大学の第五回レクとスポーツの集いは、二十二日九時半から中学校で開かれます。第一部は「若さといこう」健康づくりスポーツ、第二部は「あなただけのスポーツ」です。芸能大会です。初参加の学生も歓迎します。のびるって参加ください。



母と子の 会話

人前で何かをするのをいやがったり、大勢の中に入ると、自分らしさを失ってしまうようになってしまっている子供がいます。

このよう
な子供は、
他人の目を
気にしてい
ながらも相
手の気持ち
をくみとれ
ず、そのた
めに相手か

根気よく「意欲」を引き出そう

これは「心の成長」ばかりでなく、「社会性」をはぐくむ上でも、マイナスに作用することがあります。このように、ひっこみ思案の子供は、消極的になりがちです。しかし、子供は友だちとの交流を通して、あるいは大人

ひっこみ思案

の言動などを自分の行為に取り入れることによって、人とのつき合いや社会習慣・規則などを身につけていきます。ですから、「新しい経験」に対して消極的であるという



⑨

読書好きにする五カ条

昨年の親子読書会から「読書好きにするコツ」を五カ条にまとめました。
一、人の話をよく聞く習慣をつける。
二、できるだけ多くの本を、いろいろな分野の本を読んであげる。
三、家族全員が子どもの本に関心を持ち、いっしょに楽しむ。
四、絵を見て感じるように。
五、読み聞かせは、子どもにも字を見せる。

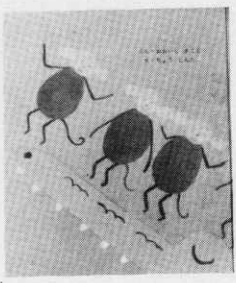
あなたもどうぞ

親子読書会へ

親子読書会は、子どもの読書に関心のある人は誰でも参加できます。あなたも、ぜひどうぞ。

第一回親子読書会
日時 六月二十七日(土)
午後一時半

会場 町公民館講座室
内容 子どもの本好きにするには「他」
講師 西小学校 細田ミサ先生



図書室

一冊の本

わにのバンポ

おおし まこと ぶん
ちよう しんた え

ワニドリという鳥をご存知ですか。この鳥は、ワニの歯についている食べかすを食べる鳥です。大きく口をあけたワニの周りを飛び回る小鳥の姿をテレビなどで見た人も多いと思います。

「ワニのバンポ」は、ワニとワニドリのお話です。ワニが誤って仲の良いワニドリをのみ込んでしまいます。ワニドリの助けを借りて心をとれた真実と強い意志に心をうたれます。

作者は「あながき」で「美しい絵の世界にひたひたながら、子どもたちがなにかをつかみとってくれば、それでよい」と語っています。南の国の動物たちの世界に夢を広げながら、親子読書をお楽しみください。

ご協力を!!

犯罪被害救済基金

通り魔殺人などの犯罪で、一家の支えを失った学生児童に、育英資金を支給しようという「犯罪被害救済基金」の制度ができました。この基金に一般のみなさんの協力を呼びかけています。寄付の申し込み、問い合わせは近隣の警察派出所におよせください。

東北電力から

防犯灯の寄贈

東北電力から二灯の防犯灯が贈られました。毎年春、秋のサービス期間に寄贈を受けているものです。今回は駅前地区、美栄地区に設置。寄贈された防犯灯の数は三十九灯になりました。

善意のご寄付

(敬称略)

- 〔香典返しにかえて〕
松橋昭一 三三(故 母ナツ)
鈴木正和 謙沢(故 父 茂)
松岡 稔 羽根山(故 父 忠)
木村勝美 李岱(故 母キサ)
山岡国蔵 雪田(故 祖母ワ)
吉田富則 川井(故 父富之助)
木村新悦 下杉(故 父新五郎)
杉測 忠 増沢(故 母 ナヨ)
藤島ナツ 木戸石(故 夫仁吉)
(一般寄付)
杉測久隆 木戸石 油絵個展の収益金の一部として
〔どうさん、ほうき寄贈〕
西根田寿クラブ(代表佐藤一蔵)
慶弔だより 5月届
○おめでとうございます
小笠原美千代 辰美長女 増沢
工藤 圭 貞一 長男 上杉
小笠原真弓 弘職 長女 美栄
藤島葉子 興司 二女 木戸石
福岡 有 昌樹 二男 三三
相馬麻衣子 淳 長女 三木田
工藤亜希子 忠志 長女 上杉
金田恵美子 武 二女 西根田
●おくりもの上げます
吉田富之助 本人 川井
木村キサ 勝美 母 李岱
藤島仁吉 65 本人 木戸石
木村新五郎 84 本人 下杉
杉測ナヨ 73 忠一郎 妻 増沢
松橋ミエ 77 勇蔵 母 三三
佐藤常蔵 70 喜代見 父 川井